

## 第4回小児在宅ケア研究会年次集会プログラム

日時：2008年6月14日（土）13：00～16：55（受付開始12：30）

場所：名古屋大学大幸キャンパス東館大講義室

テーマ：多職種協働で支えるこれからの小児在宅ケア

プログラム：

13：00～13：20 【小児在宅ケア研究会総会】

休憩13：20～13：30

開会の挨拶

13：35～14：35【活動報告】

座長 群馬大学医学部保健学科 金泉志保美

1. 小児の訪問看護の実践を通じて今後のあり方を考える  
ー7年間、97名の子ども達への関わりを通じてー  
訪問看護ステーションほのか 梶原厚子
2. 病棟における「在宅係」としての取り組み ー事例検討会の実際ー  
大阪府立母子保健総合医療センター 伊東由佳
3. 在宅人工呼吸器患児の退院支援 ー地域医療連携室の取り組みー  
千葉県こども病院 上加世田豊美

休憩14：35～14：45

14：45～15：45【事例報告】

座長 千葉県こども病院 大澤通子

1. 精神的に不安定な母親に対する退院支援  
静岡県立こども病院 矢部和美
2. 在宅人工呼吸器療養を希望したが移行できなかった家族へのアプローチ  
大阪府立母子保健総合医療センター 川口めぐみ
3. 多くのサービス利用にも関わらず在宅療養の継続が困難であった事例を振り返る  
羽島市医師会訪問看護ステーション 小川絵麻

休憩15：45～15：55

15：55～16：55【講演】

座長 名古屋大学医学部保健学科 奈良間美保

「HOSPITAL PLAYの概念化を目指して Playの意味を考える」

静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 松平千佳先生

閉会の挨拶